

英語教育の最先端を知るオンラインセミナー

一期一会の英語授業

「指導と評価の一体化」や「逆向き設計」が強調される中、英語授業は「再現可能」であることが求められがちです。たしかに、綿密な計画に基づき安定したパフォーマンスを発揮することは、あるべき教育活動のひとつの姿です。その一方で、「**あんな授業は、後にも先にもあの時しかできなかった!**」という感動も、人と人が関わる教育において魅力ある経験ではないでしょうか。定番のセオリーを熟知し、安定感のある指導で着実に成果をあげつつ、目の前の生徒たちとの「一期一会」を楽しむ若きパイオニアをお招きし、「**英語授業の一回性**」について語っていただきます。

講師：

山崎 寛己氏（新潟市立下山中学校教諭）

英語教員になり12年が経ちます。その中でさまざまな生徒との出会いがありました。それぞれの「思い」をできるだけ汲み取りながら、こちらの「思い」も大切に授業をするよう努めてきました。失敗も数多くありますが、その時々でこちらが思わず「すごい...」と唸るような作品や生徒のことばに出会いました。それはまさに、後にも先にもあの時、あの生徒たちでなければ成立しなかった授業です。そんな一期一会の英語授業の魅力について、みなさんと考えを深めたいと思います。

【略歴】

1987年新潟市に生まれる。上越教育大学大学院修了後、大阪府の公立小中学校で8年間勤務し2020年度より現職。中学校検定教科書『BLUE SKY』（啓林館）編集委員。共著に『話せる!書ける!英語言語活動アイデア&ワーク66』（明治図書）など。『英語教育』（大修館書店）にて「サステナブルな授業磨き」を2023年度から連載中。週に1回サウナに行きたい。



日時：

2024年11月2日(土)
14:30~16:15 (入室14:00~)
ZOOMによるオンライン形式



<https://bit.ly/3yB0IDJ>

参加費：**無料**

申込：右記QRコードもしくはURLから、**10/30(水)まで**にご登録ください。

(個人情報)はセミナー運営の目的にのみ使用します。

※本セミナーは広島大学ホームカミングデーの企画として広島大学英語教育学会および教育学部・英語文化系コースが主催するものですが、**アウトリーチ型の公開イベント**として学外の方のご参加を歓迎しております。

(英語)教員を目指す高校生もぜひご参加ください!

Look!

問い合わせ先：英語教育学講座図書室(大石)
e-mail:y-oishi1107@hiroshima-u.ac.jp tel:082-424-6796